

開設科目名	科目：建築・住居史										担当教員：増井正哉							
開 講 期	後期			授業方法：講 義				単位数：2単位				週時間：2時間						
対 象 学 生	1 回生			科目番号：065030														
授業の概要	建築・住居史は、現在の住環境を歴史的視点から評価するための基礎的知識を得ることを目的とする。講義では、先史から現在にいたる、わが国における建築・住居の歴史的展開について、空間的形態・意匠・様式の変遷と、その社会的背景に重点をおいて講述する。																	
学 習 ・ 教 育 目 標	① 日本建築史・住居史の基本的な流れを理解する。 ② 日本の伝統的建築・住居の構法・空間構成・意匠の基本を理解する。 ③ 日本の伝統的建築の基本的な部位・名称を覚える。 ④ 歴史的建造物の保存修復の基本的な考え方を理解する。 ⑤ 建築・住居・地域の歴史的特徴を読みとる視点を理解する。																	
	対応表	A			B		C				D			E		F		
		A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	F-1	F-2	F-3
	○					◎				○								
キーワード	歴史性・地域性・歴史的建築物・保存・修復・再生																	
授 業 計 画	第1回 建築・住居史入門 第2回 日本建築のルーツ 第3回 仏教伝来と寺院・建築 第4回 古代都城と住居 第5回 平安時代の社寺建築 第6回 禅宗様・大仏様・和様 第7回 東大寺見学 第8回 寝殿造から書院造へ 第9回 茶室と数寄屋造 第10回 近世都市と城郭 第11回 日本の民家―農家と町家 第12回 東福寺・二条城・京町家見学 第13回 日本の近代建築 第14回 歴史的建造物の保存と再生 第15回 試験																	
教 科 書	日本建築学会編『日本建築史図集』彰国社																	
参 考 書	日本建築学会編『近代建築史図集』彰国社																	
成 績 評 価 方 法	学期末に試験を実施する。平常時の参加状況を加味して、総合的に評価する。学期末試験、中間課題、授業での発言・応答、見学への参加等を総合的に評価する。																	
評価割合	定期試験 (中間・ 期末試験)	小テスト・ 授 業 内 レ ポ ー ト		宿題・授業 外レポート		授業態度・ 授 業 へ の 参 加 度		受 講 者 の 発 表 (プレゼン)		出 席						合 計		
	70%	%		10%		20%		%		%		%		%		100%		
備 考	この講義は、奈良女子大学COEプログラム「古代日本形成の特質解明の研究教育拠点」の研究成果に基づく教育の一部である。 A～Fは住環境学科（専攻）の学習・教育目標である。具体的内容については住環境学科のホームページを参照のこと。 研究室：E 401号室、オフィスアワー月曜日13時～17時、E-mail：mmasui@cc.nara-wu.ac.jp																	